

平成27年度 第3回 中部森林管理局 国有林材供給調整検討委員会
(概 要)

1 開催日時

平成27年12月9日(水) 10時00分～12時00分

2 開催場所

中信森林管理署 会議室

3 検討内容

- (1) 国有林材供給調整対策について
- (2) 情報交換等
- (3) その他

4 検討結果

価格解析結果では一部の販売ブロックにおいて木材価格が「定常範囲を逸脱する動き」を確認したものの、各委員からの意見等を総合的に勘案した結果、現時点において国有林材の供給調整を実施する「必要性はない」と判断する。

5 委員意見等

- ・ A材については出材が少ない状況。A材とB材の価格差が少なくなったことから採材・仕分けがなされていない。
- ・ 生産効率を上げるためには機械的な採材になってしまう。今後は細やかな採材をして価格を上げる取組みも必要である。
- ・ 原木については全体的に在庫がない状況。製品については流通しているが、価格は下がってきている。
- ・ 地域間の格差が大きくなってきている。それぞれの地域の状況が違うことから、他の地域は参考にならず、中部圏としての供給対策をしっかりと議論しなければならない。
- ・ 中・大規模工場等の稼働や計画は進んでいるが、供給体制が整っておらず、安定的に供給がされるか不安である。
- ・ 皆伐を増やさないと各県の目標生産量は実現できない。しかし獣害対策等から再造林にお金がかかり、進んでないのが現状である。
- ・ 高性能林業機械化を進めていきたいが、高額なためなかなか投資できない。補助基準の見直し等の制度の充実をお願いしたい。
- ・ 林業就労者数の向上には3月から5月の仕事の確保が必要。安定雇用ができる事業等の拡充をお願いしたい。